

第1学年国語科学習指導案

平成27年11月5日(木) 2校時

授業者 担任・学校司書

場所 学校図書館

1. 単元名 おきにいのりのりものをしらべて、「のりものずかん」をつくろう
(教材名『いろいろなふね』 東京書籍 1年下)

2. 単元の目標

○乗り物に興味をもって説明文を読んだり、好きな乗り物について調べたりしようとする。

【国語への関心・意欲・態度】

○乗り物の「やくめ・つくり・できること」を表す大事な言葉や文を見つけ、内容の大体を読み取ることができる。

【読む能力】

○お気に入りの乗り物について調べるために、乗り物について書かれた本や文章を選んで読むことができる。

【読む能力】

○主語や述語の関係に注意して文章を読み取ることができる。

【言語に関する知識・理解・技能】

3. 基盤

1学期の説明文の『どうやってみをまもるのかな』では、事物の順序に気を付けて内容を正しく読み取る学習をした。児童は、「問い」に対する「答え」を見つけたり、動物の体の特徴や身の守り方を見つけたりした。しかし、読み取りにおいて個人差が大きく、写真を手掛かりに読み取っていた児童が見られた。読書では、興味をもって簡単な物語の本を借りて読んでいる。説明文の本や図鑑を読んで学習するのは、今回が初めてである。

本単元は、学習指導要領第1学年及び第2学年の「C読むこと」の「エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと」、「カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を読むこと」に関した指導内容である。

本教材は、4つの船の「やくめ・つくり・できること」について、同じ文章構成、同じ文型で説明されており、叙述に即して内容を正確にとらえることに適している。自分のお気に入りの乗り物について必要な情報を本や文章から読み取り、教材文で学んだ観点ごとに「のりものカード」を書いていく。

指導にあたっては、単元を貫く言語活動『おきに入りのりのりものをしらべて、『1の2のりものずかん』をつくろう』を設定し、児童が目的意識や意欲をもって学習に取り組めるようにしたい。

本時は、「のりものカード」を使って、自分のお気に入りの乗り物について、気に入ったところを紹介し合い、感想を交流する学習活動である。乗り物が異なる児童でグループを作り、そのグループの中で、ペアになって紹介し合っていく。グループでの発表が終わったら、「友達の紹介を聞いてどう思ったか」、「友達に紹介してどう思ったか」を全体で交流する。

4. 本單元における情報リテラシーとのかかわり

「つかむ」

- ・「のりものずかん」を作るという目的をもって学習に取り組ませるために、教師自作の「のりものカード」と出会わせ、お気に入りの乗り物について調べたいという意欲をもてるようにする。
- ・乗り物について興味をもたせるために、学校司書によるブックトークを行う。

「さがす」「えらぶ」

- ・お気に入りの乗り物カードが書けるように選書する。
- ・自分のお気に入りの乗り物を選ぶことができるように、乗り物の本の並行読書を行う。
- ・いろいろな乗り物の「やくめ・つくり・できること」についてまとめられるように、ワークシートを用いる。
- ・「やくめ」は青、「つくり」はピンク、「できること」は黄色と色分けをすることで視覚化し、視点を意識しながら取り組めるようにする。

「まとめる」「発表する」

- ・二次で学んだことを生かせるように、教材文と同じワークシートを使用し、「やくめ」は青、「つくり」はピンク、「できること」は黄色と色分けした短冊を貼る。
- ・互いに気に入ったところについて、乗り物カードをもとに紹介し合い、感想を交流する。

5. 学校図書館活用教育との関連

教材名	単元のねらい
どうやってみをまもるのかな	事柄の順序に気をつけて、内容を正しく読む。
いろいろなふね	書かれていることを事柄ごとに正しく読み取り、他の本を読んで調べたことをまとめる。
歯がぬけたらどうするの	文章を読んで似ているところや違うところを考え、自分のやってみたいやり方を伝え合う。

- ・今市っ子図書館で学習。
- ・学校司書によるブックトーク。
- ・司書教諭による本の見つけ方、目次・索引の使い方指導、情報の取り出し方指導。

6. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・乗り物に興味をもって説明文を読んだり、好きな乗り物について調べたりしようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り物の「やくめ・つくり・できること」を表す大事な言葉や文を見つけ、内容の大体を読み取っている。 ・お気に入りの乗り物について調べるために、乗り物について書かれた本や文章を選んで読んでいる。 	・主語や述語の関係に注意して文章を読んでいる。

7. 単元の指導と評価の計画 (全14時間)

次	時	目 標	学習内容	評 価			学校図書館との連携
				関	読	言	
一	1	・いろいろなのりものに興味をもち、学習の見通しをもつことができる。	○教師自作の「のりものカード」と出会い、お気に入りの乗り物について調べたいという意欲をもつ。	○			○
	2	お気に入りののりものをしらべて、「のりものずかん」をつくらう					
二	3	・教材文を読み、4つの船について書かれている内容の大体を読み取る。	○学校司書によるブックトークを聞き、乗り物について興味をもつ。 ○司書教諭から本の選び方、目次・索引の使い方を学ぶ。	乗 り 物 の 本			○
	4						
三	5	⑬	○お気に入りの乗り物を決め、3つの事柄について読み取ったことを「のりものカード」にまとめる。 ○お気に入りののりものを友達と紹介し合う。				○
	6						
	7	⑭	○お気に入りの乗り物について書かれている本や文章を選び、のりものカードを作ることができる。				○
	8						
	9	⑮	○お気に入りの乗り物を決め、3つの事柄について読み取ったことを「のりものカード」にまとめる。 ○お気に入りののりものを友達と紹介し合う。				○
	10						
	11	⑯	○お気に入りの乗り物について書かれた本や文章を選んで読んでいる。(のりものカード)				○
	12						
	13	⑰	○お気に入りの乗り物について書かれた本や文章を選んで読んでいる。(のりものカード)				○
	14						

8. 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・乗り物カードを用い、大事な言葉に気を付けながら、自分の思いを紹介し合うことができる。

【読む能力】

(2) 展 開

	主な学習活動と予想される児童の反応（・）	教師の支援○ 評価☆
つかむ 10分	1. 本時の学習を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> きいてきいて！おきにいりの のりもの！ </div>	○学習の見通しをもたせ、意欲を高める。 ○本時は互いに気に入ったところについての感想を交流するというねらいを伝えることで、視点をもって友達の紹介をし合うことができるようにする。 ○乗り物カードの紹介の仕方を確認する。
ひろげ る 20分	2. お気に入りの乗り物を紹介し合う。 (かんそうワード) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> なるほど ・ すごいな ・ はじめてしまった よくわかったよ ・ のってみたいな もっとしりたいな </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ車の紹介を聞いて、ぼくも乗りたくなった。 ・レッカー車の紹介を聞いて、クレーンがついていることを初めて知った。 	○自分の思いを伝えたり、相手の思いを受け止めたりしやすいように、ペアで紹介させる。(3回、ペアを交代して行う) ○興味をもって友達の紹介が聞けるように、異なる乗り物のグループを作る。 ○紹介し合った後、お気に入りの乗り物について読み広げることができるよう、お気に入りの乗り物を選んだ本を用意しておく。 ○学習の振り返りの際に、ねらいにせまった振り返りができるように、ワークシートにいくつか「かんそうワード」を示しておき、自分の一番近い気持ちに○をさせる。
ふかめ る 10分	3. 学習の振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんの話を聞いて、「消防飛行艇」は、中にあるタンクに水を溜めて、空から水をまいて消すことを初めて知りました。もっと知りたくなりました。 ・ぼくは、お気に入りのパトカー友達に紹介して、友達が「乗ってみたい」と言ってくれて嬉しかったです。 	○友達のお気に入りの乗り物の紹介を聞いてどう思ったか、友達に紹介してどう思ったかを問いかけることで、ねらいに沿った振り返りをさせる。 ☆大事な言葉に気を付けながら、自分の思いを紹介し合うことができる(発言・ワークシート)
まとめ る 5分	4. 次時の説明をする。	○友達への感想は、のりものカードに貼ることを伝える。 ○次時への興味をもたせるために、のりものカードを集めて、「のりものずかん」を作ること知らせる。

(3) 本時の評価規準と支援

	十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	努力を要すると判断される児童への支援
読む能力	大事な言葉に気を付けて、紹介し合い、読みの世界を広げる意欲をもつことができる。	大事な言葉に気を付けて、紹介し合うことができる。	大事な言葉を一緒に確認しながら、紹介できるようにする。

(4) 研究の視点

- ・乗り物カードの生かし方は、気に入ったところを伝え合う上で適切であったか。
- ・伝え合いの視点を示して紹介させたことは、友達と思いを分かち合ったり、認め合ったりするために有効であったか。